

NPO 法人ふくてっく 平成 29 年度 第 1 回理事会議事録

日時 平成 30 年 2 月 3 日

場所 大阪市天王寺区高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター3 階

式次第

出席状況報告 出席理事 小川 杉浦 荻田 池端 岡 中北
出席監事 秋岡 稲住
欠席理事（委任状出席） 清水 曾我部

議長の選出 満場一致で小川理事を議長に選出

書記の指名 議長は中北理事を指名

開会の宣言 議長は 11 : 02 開会を宣言

議案 1 議事録署名人の指名
荻田理事と池端理事を指名。

議題 2 障がい者居住環境の減災支援活動
経過報告

1 月例会で基本承認された、その後中北が牧口氏とメール交信により協議を重ね、さらに 1/26 には、ゆめ風基金事務所において、ゆめ風基金幹部職員数名と外部メンバー同席で詳細内容を協議した。（別紙資料）

参加：牧口一、牧口明、八幡、橘高、長崎圭子、福本千夏、

石田（ちゅうぶ）、小林（障がい者問題資料センターリボン社代表・そよかぜ）
ゆめ風基金 障がい者支援団体へ呼びかけを急ぐ（別紙資料）

まず、モデルケースとして長崎、福本おふたりの住居の減災に取り組む

また、いくつかの典型ケースを参考価格を示した資料をつくって案内することになった。

2-1 活動始動体制

ふくてっくメンバーの参加意向調査結果の報告。

今日までに届いた回答は 12 件（参加 10、不参加 2）

以下の 10 名でスタートする。

中北 竹田 山本 曾我部 後藤 清水 多田 大塚 寺岡 松本

本活動の進行において、東大阪部会検証活動との整合性が問題になる。

中北は東大阪部会を退会してこちらに専念する。

その他の東大阪部会メンバーは東大阪市内案件には関与しないこととする。

メンバーの顔ぶれから、こむねっと部会活動の新規事業とする。

ただし、ふくてっく正会員は全て活動参加が可能。

これに、大阪ボランティア協会等の協力を得て外部からボランティアメンバーを募る。ゆめ風基金との協働では、主として障がい者が対象となるが、よりメジャーな対象として独居老人等も課題となってくる。これにはゆめ風基金とは別のパートナーを設定することになる。

以上について賛否を諮ったところ、一同異論なく承認。

議題 3 学生インターンシップ受入れ

その後の経過報告

27日に候補学生を面接する予定であったが、
当会を第2希望としていた数名の学生が、それぞれの第1志望事業所から
受入れを拒否された時点で、インターンシップそのものを断念したため、
27日の面接を中止。
福祉関係を志望していた学生の去就を待っていたが、
29日それぞれ志望事業所に受入れが確定。よって、今回の受入れはなしとなった。

議題 4 平成29年度上半期の活動報告と下半期の活動展望

4-1 ふくてっくのつどい (小川理事長) 別紙資料

上半期の収支は、ほぼトントン。
下半期には収益を伴わない活動があり、期末決算ではマイナスが見込まれる。
1月30日の院内学級授業は無事終了したが、医師も教師も、子どもたちの意外な
能力を見る思いがするとの評があり、活動の効用を実感することができた。
下期のたいけん活動では2月18日のeトコでのカニパーティ、春には花見などを
企画している。

4-2 東大阪部会 (清水理事 代理：小川理事長)

・住宅改修適正検証活動 別紙資料

東大阪市では改造時助成制度が障がい者のみとなっている。積極的な広報がなく、
その利用は低迷している。
ともあれ例年通り、活動は順調に推移しており、毎月の部会も開催を続けている。

4-3 こむねっと部会 (中北理事)

・福祉サービス第三者評価事業の進捗と下半期の展望

初期計画

件名	事前訪問・準備	アンケート・自己評価	訪問調査	評価決定・公表
天王谷	済み	～H29.8 (9/10期限)	H29.10、11月	12月～H30.2
奈良育成会	課題検討(8・9月)	～H29.12月	H30.2～3月	～H30.5月
美原の郷	状況把握(～12月)	～H30.1月	H30.3～4月	～H30.6月

上半期の経過

件名	事前訪問・準備	アンケート・自己評価	訪問調査	評価決定・公表
天王谷	計画通りに進行、予定通り H30.2 に全社協へ報告する。			
奈良育成会	H30.4 からのスタートとする。まずはワークショップ形式で。			
美原の郷	もっか再建委員会に取組中。第三者評価は H30.7 以降に着手する。			
ぐりーん	今年度は家族アンケートおよび自己評価分析。3月に公表。第三者評価は次年度			
岸和田学園	済み		H30.2月	H30.3月
あおぞら	済み		H30.2月	H30.3月
羽曳野学園	済み		H30.3月	H30.3月

今年度の第三者評価事業による収入見込み

初期計画にあった案件の次年度繰越があった反面、新規受注が多数あり、

当初予算での収益予想から、20～30万の増額が見込まれるが、当然支出も増加する。第三者評価関係支出（研修会等費用）として合計9万円の予算を計上していたが若干上回る予定。

・その他事業と下半期の展望

特殊建築物定期検査報告・基幹設備調査（当初予算：収入50万、支出25万）

奈良県手をつなぐ育成会の本体施設について、4月以降着手する。

福井寮の定期検査報告で約6万円の収益が発生した。

社会資源利活用と地域福祉PM事業（当初予算：収入50万、支出20万）

もっかのところ、計画案件は浮上していない。

重症心身障がい児者を支える会および政和福祉会から相談があり対応したがいずれも検査済証がなく、法不適合の是正も困難で進展は見込めない。

総合的に、本年度期末の収支は、収入はほぼ予算通りながら、支出は増加傾向。

40万の収支差額を見込んでいたが、ほぼ半減すると思われる。

以上、3部会の活動報告について、賛否を諮ったところ、一同異論なく承認する。

議題 5 定款変更の件

貸借対照表公告義務化に対応して、公告方法を変更するために定款を変更する。

現行は官報掲載（有料）となっているが、実際には行っていない。

義務化に伴い、罰則を回避するには、①定款どおり官報に公告する

②ポータルサイトに掲載する。③自法人のHPに掲載する。などが考えられるが

①は費用が ②は事務作業が負担となるので、③の手法としたい。

このため、定款を変更するひつようがあり、8月お総会で決定して定款変更の手続きを進める。

この機会に、定款変更を要する事案が他にないか、あれば総会議案に加える。

以上、賛否を諮ったところ、一同異論なく承認する。

議題 6 その他

小川理事長から、東大阪部会を代表して、議題としてではなくその他事項として、以下の報告があり、出席理事に意見を具申した。

東大阪部会に所属する山田会員はかねてより高齢者の生活状況把握を先行してこれを反映した適切な住宅改造が必要であるとの帰結に導く論文作成に取組みたいとの意向があり、部会を通じて東大阪市からの資料提供を求めている。

しかしながら、山田氏は職務の都合もあって毎月の部会に参加する事が少なく、その意図するところの説明が徹底されておらず、その結果としてなかなか氏の意向に沿うことができていなかった。そんな中で、ついに氏は単独で東大阪市に対して情報提供を求めた（1月中旬）。なお、その際に、最近の論文ねつ造事件に鑑み、データの出所とその責任者名を文書で明示する必要がある旨申し出ている。

これに対して、東大阪市の回答は、

①ふくてっくが東大阪市と契約している業務に含まれる、毎年提出している「報告書」の内容に記載されていることについては、広く出回っているものとしてとらえ、論文等に流用していただいて差し支えないが、報告書の内容以外の情報を提供することはお断りしたい。

②報告書は、契約に基づいてふくてっくが作成し東大阪市に納品されているものの

でその内容提供に関して、東大阪が責任者として書類に署名・押印する必要はないと判断する。（以上①②の聴き取りは1/25山本会員）

以上の経過があったが、山田氏はなお東大阪市から情報提供を受けたい希望が強く、東大阪部会（あるいはふくてっく）の協力を要請している。

市も山田氏個人とは協議できないが、東大阪部会あるいはふくてっくからの申し出であれば協議には応ずる（但し上記①②は変わらない）とのこと。

東大阪部会メンバーは、山田氏の意図する所や資料提供を東大阪市に求める根拠を理解しがたく困惑している状況があり、一定応援する意向も見られるが、多数の意見は彼の単独行動に批判的である。

東大阪市の見解は既に出ておりこれを覆すことは難しいし、そもそもデーターとしては、当部会がまとめた報告書の域を超えるものの開示は期待できない。

報告書から論文資料利用することに、反対する意見はないが、資料提供の責任者としてNPOふくてっくの代表理事として記名捺印を求められた場合に、どのように対処すべきか意見を求めたい。私としては押印するつもりはないのだが・・・

稲住監事

山田氏の意向や部会の意向を正確に把握しないことには、判断のしようがない。

まずは部会で結論を出すべきだろう。

報告書は既に公表されているものなら、その利用は拒む必要はないし、であれば使用許可に記名捺印することも、こだわることはないと考える。

理事会には結果報告でよいのではないか。

本件については、理事会として賛否の採決対象に値しないものとする。

議長は、他に発議がないことを確認して、12：20に閉会を宣言した。

以上

議事録署名

議長

印

署名人

印

署名人

印